平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月8日

上場会社名　文化シヤッター株式会社　　上場取引所　東
コード番号　5930　URL　http://www.bunka-s.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 茂木　哲哉
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長　(氏名) 西村　浩一　TEL 03-5844-7200

四半期報告書提出予定日　平成24年2月8日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	70,671	2.3	1,833	416.1	1,842	405.5	1,005	―
23年3月期第3四半期	69,057	3.2	355	―	364	―	△1,335	―

(注)包括利益　24年3月期第3四半期　259百万円　(―%)　23年3月期第3四半期　△1,733百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	15.30	―
23年3月期第3四半期	△19.45	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	82,221	29,403	35.8
23年3月期	80,400	29,539	36.7

(参考) 自己資本　24年3月期第3四半期　29,403百万円　23年3月期　29,539百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	3.00	―	3.00	6.00
24年3月期	―	3.00	―		
24年3月期(予想)				3.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	2.8	2,200	183.9	2,600	130.5	1,900	22.7	28.91

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(その他)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	72,196,487 株	23年3月期	72,196,487 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	6,479,005 株	23年3月期	6,475,185 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	65,719,290 株	23年3月期3Q	68,664,603 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興に向けた回復が見られるものの、原発事故に伴う電力供給問題や海外の金融不安等による円高の影響、依然として厳しい雇用情勢等により、景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

当社グループを取り巻く建設・住宅業界におきましても、設備投資に一部持ち直しの動きが見られるものの、依然として厳しい事業環境が続いております。

このような状況下におきまして、当第３四半期連結累計期間の売上高は70,671百万円(前年同四半期比2.3%増)となりました。収益面では、ＢＸＴＣＲ活動を継続推進し、当社グループの全部門において企業コストを削減する取り組みを積極的に推し進めました結果、営業利益は1,833百万円（前年同四半期比416.1%増）、経常利益は1,842百万円（前年同四半期比405.5%増）、四半期純利益は1,005百万円（前年同四半期は四半期純損失1,335百万円）となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

なお、第１四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

１．シャッター関連製品事業

軽量手動シャッター、シートシャッターが堅調に推移しました結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は28,044百万円（前年同四半期比1.6%増）、営業利益は2,762百万円（前年同四半期比99.2%増）となりました。

２．建材関連製品事業

ビル用ドア、住宅用ドアが低調に推移しました結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は24,086百万円（前年同四半期比0.8%減）、営業損失は323百万円（前年同四半期は営業損失100百万円）となりました。

３．サービス事業

連結子会社文化シヤッターサービス株式会社を中心に、修理・メンテナンス対応の件数が増加しました結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は9,837百万円（前年同四半期比15.1%増）、営業利益は861百万円（前年同四半期比61.4%増）となりました。

４．リフォーム事業

連結子会社ゆとりフォーム株式会社を中心に、競争激化の市場環境の中で堅調に推移しました結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は7,250百万円（前年同四半期比3.5%増）、営業利益は313百万円（前年同四半期比48.4%増）となりました。

５．その他

前年同四半期において「その他」に区分しておりましたステンレス建具を「建材関連製品事業」へ変更したことと、志村ショッピングセンターの売却により賃貸収入が減少した影響から、当第３四半期連結累計期間の売上高は1,453百万円（前年同四半期比10.5%減）、営業損失は6百万円（前年同四半期は営業利益33百万円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末の総資産は82,221百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,820百万円増加しました。流動資産は56,145百万円となり、3,771百万円増加しました。これは、受取手形及び売掛金が減少（4,492百万円）した一方で、商品及び製品が増加（4,169百万円）したこと、現金及び預金が増加（2,756百万円）したことが主な要因であります。固定資産は26,075百万円となり、1,951百万円減少しました。これは、投資有価証券が減少（689百万円）したこと、建物及び構築物が減少（323百万円）したことが主な要因であります。

当第３四半期連結会計期間末の負債は52,817百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,955百万円増加しました。流動負債は33,040百万円となり、2,719百万円増加しました。これは、短期借入金が増加（1,099百万円）したこと、支払手形及び買掛金が増加（776百万円）したことが主な要因であります。固定負債は19,776百万円となり、764百万円減少しました。これは、長期借入金が減少（600百万円）したことが主な要因であります。

当第３四半期連結会計期間末の純資産は29,403百万円となり、前連結会計年度末に比べ135百万円減少しました。これは、四半期純利益の計上（1,005百万円）により増加した一方で、その他有価証券評価差額金の減少（725百万円）、配当金の支払い（394百万円）により減少したことが主な要因であります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年３月期の連結業績予想につきましては、平成23年11月９日に公表した内容から変更ありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,906	15,663
受取手形及び売掛金	27,913	23,421
商品及び製品	5,965	10,134
仕掛品	750	819
原材料及び貯蔵品	2,308	2,534
その他	2,885	3,804
貸倒引当金	△357	△232
流動資産合計	52,373	56,145
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,992	6,669
土地	7,783	7,777
その他（純額）	2,720	2,515
有形固定資産合計	17,497	16,963
無形固定資産		
のれん	4	3
その他	722	647
無形固定資産合計	727	650
投資その他の資産		
投資有価証券	5,585	4,896
その他	5,380	4,783
貸倒引当金	△1,162	△1,168
投資損失引当金	－	△49
投資その他の資産合計	9,803	8,462
固定資産合計	28,027	26,075
資産合計	80,400	82,221

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,766	20,542
短期借入金	1,800	2,900
未払法人税等	536	540
賞与引当金	1,382	952
役員賞与引当金	7	30
工事損失引当金	128	87
災害損失引当金	60	―
資産除去債務	―	4
その他	6,638	7,982
流動負債合計	30,320	33,040
固定負債		
長期借入金	2,800	2,200
退職給付引当金	15,781	15,877
役員退職慰労引当金	467	452
負ののれん	20	12
資産除去債務	49	43
その他	1,421	1,189
固定負債合計	20,540	19,776
負債合計	50,861	52,817
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,051	15,051
資本剰余金	11,159	11,159
利益剰余金	4,739	5,350
自己株式	△1,910	△1,911
株主資本合計	29,040	29,650
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	610	△114
土地再評価差額金	0	18
為替換算調整勘定	△111	△149
その他の包括利益累計額合計	499	△246
純資産合計	29,539	29,403
負債純資産合計	80,400	82,221

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
売上高	69,057	70,671
売上原価	51,406	51,838
売上総利益	17,650	18,833
販売費及び一般管理費	17,295	16,999
営業利益	355	1,833
営業外収益		
受取利息	8	7
受取配当金	97	119
受取賃貸料	47	49
負ののれん償却額	7	7
助成金収入	120	7
投資事業組合運用益	－	228
その他	170	134
営業外収益合計	451	555
営業外費用		
支払利息	81	82
持分法による投資損失	222	248
その他	137	214
営業外費用合計	442	546
経常利益	364	1,842
特別利益		
固定資産売却益	5	185
移転補償金	1,620	－
その他	13	－
特別利益合計	1,639	185
特別損失		
固定資産売却損	0	4
固定資産除却損	20	23
減損損失	14	－
たな卸資産除却損	49	－
投資有価証券評価損	3	－
貸倒引当金繰入額	46	－
課徴金	2,025	－
割増退職金	383	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	111	－
その他	277	－
特別損失合計	2,934	27
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△930	1,999
法人税等	404	994
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△1,335	1,005
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△1,335	1,005

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△1,335	1,005
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△316	△699
為替換算調整勘定	△55	△5
持分法適用会社に対する持分相当額	△25	△40
その他の包括利益合計	△398	△745
四半期包括利益	△1,733	259
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,733	259
少数株主に係る四半期包括利益	―	―

（3）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（4）セグメント情報等
（セグメント情報）
Ⅰ 前第３四半期連結累計期間（自平成22年４月１日 至平成22年12月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	シャッター関連製品事業	建材関連製品事業	サービス事業	リフォーム事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	27,593	23,587	8,545	7,003	66,730	2,326	69,057	－	69,057
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,804	7	482	0	2,294	81	2,376	(2,376)	－
計	29,397	23,595	9,027	7,004	69,025	2,407	71,433	(2,376)	69,057
セグメント利益又は損失（△）	1,387	△110	533	211	2,022	43	2,065	(1,710)	355

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、家具製造販売事業、保険代理店事業等を含んでおります。
２．セグメント利益又は損失（△）の調整額△1,710百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,706百万円、棚卸資産の調整額△３百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第３四半期連結累計期間（自平成23年４月１日 至平成23年12月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	シャッター関連製品事業	建材関連製品事業	サービス事業	リフォーム事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	28,044	24,086	9,837	7,250	69,218	1,453	70,671	－	70,671
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,042	4	687	1	2,736	89	2,826	(2,826)	－
計	30,086	24,091	10,524	7,252	71,955	1,542	73,497	(2,826)	70,671
セグメント利益又は損失（△）	2,762	△323	861	313	3,614	△6	3,608	(1,775)	1,833

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、家具製造販売事業、保険代理店事業等を含んでおります。
２．セグメント利益又は損失（△）の調整額△1,775百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,771百万円、棚卸資産の調整額△４百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

前第３四半期連結累計期間において「その他」に含めて表示していた事業セグメント「ステンレス製品事業」は、第１四半期連結会計期間より報告セグメント「建材関連製品事業」へ表示を変更しております。これは、「建材関連製品事業」の経営実態をより適切に表示するため、製品の類似性の見直しを行い、変更したものであります。なお、前第３四半期連結累計期間の「その他」に含めて表示していた「ステンレス製品事業」の外部顧客への売上高は703百万円、セグメント間の内部売上高又は振替高は７百万円、セグメント利益は９百万円であります。また、前第３四半期連結累計期間のセグメント情報を、当第３四半期連結累計期間において用いた区分の方法により表示すると次の通りとなります。

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	シャッター関連製品事業	建材関連製品事業	サービス事業	リフォーム事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	27,593	24,291	8,545	7,003	67,433	1,623	69,057	－	69,057
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,804	15	482	0	2,302	73	2,376	(2,376)	－
計	29,397	24,306	9,027	7,004	69,736	1,696	71,433	(2,376)	69,057
セグメント利益又は損失（△）	1,387	△100	533	211	2,031	33	2,065	(1,710)	355

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、家具製造販売事業、保険代理店事業等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,710百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,706百万円、棚卸資産の調整額△３百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。